

親子聖書日課

NO.1759 2022.6/12-18

名前

[日]信仰はマラソンに似ています。一度、立ち止まるとなかなか走り出せません。礼拝も休み出すと怠け癖がつき、行くのが億くうになります。ですから、主だけを見つめて「忍耐強く走り抜」きましょう。そのために、重荷や罪をすぐ捨てましょう。

[月]「聖なる生活」とは、清く正しい生活という意味ではありません。「聖なる」とは、神だけを取り分けることを意味し、神のことを第一に思う生活です。欲にひかれ、自分のことを第一に思うなら、「苦い根(罪)」が生え、主を見ることはできません。

[火]信仰が一番試されるのはお金です。「金銭に執着する」人は、喜んで精一杯献金できません。いつも惜しみながら、僅かな献金で済ませるのです。それは神の物を盗む泥棒です。金銭に執着せず、神の物(十分の一)は、神に捧げましょう。

[水]「家族が救われますように」と祈りながら、疑う人はいませんか。それでは、祈りは答えられません。「いささかも疑わず、信仰をもって願う」のが、祈りです。全ての人が救われることは主の御心ですから、祈禱会に参加して、信じて祈りましょう。

[木]御言葉を受け入れるとは、御言葉を聞くことではありません。聞いて行うことです。「そんなことはできません」と言うのではなく、「お言葉ですから」と言って、従うことです。御言葉に従った時、御言葉が私達の魂を救うことを発見するでしょう。

[金]教会には様々な人が来られますが、決して人を外見だけで「分け隔てしてはなりません」主を求め人なら誰でも歓迎しましょう。教会は、この世の肩書はいりません。むしろ、無学で無力な者が選ばれる所ですから、一人一人を大切にしましょう。



絵:りな

[土]主を信じても行いが伴わなければ、誰にも信頼されず、何の役にも立ちません。「行いの伴わない信仰は死んだもの」悪臭を放つだけです。「主よ、主よ、という者でなく、父の御心を行う者が天国に入る」のです。信仰の生活化を目指しましょう。

	聖書	問題	答え
日	ヘブライ 12:1-13	自分に定められている競争をどうすべきですか。	
月	12:14-29	どんな生活を抜きにして誰も主を見ることはできませんか。	
火	13:1-25	何に執着しない生活をし、今持っているもので満足すべきですか。	
水	ヤコブ 1:1-18	いささかもどうせず、信仰をもって願うべきですか	
木	1:19-27	御言葉を聞くだけでなく、どうする人になるべきですか。	
金	2:1-13	主イエス・キリストを信じながら、人をどうしてはなりませんか。	
土	2:14-26	何を伴わない信仰は、死んだものですか。	
感想と祈りの課題			